

## 職場環境改善についての取組み

	職場環境要件項目	当法人としての取組み
資質の向上	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援（研修受講時の他の介護職員の負担を軽減するための代替職員確保含む）	自己啓発による資格取得、法人の要請による資格取得を支援するために、都度法人認めたものに対して、法人が定めた範囲で全額もしくは半額の資格取得費用の費用負担を積極的に行っています。 研修情報の提供、研修日程等に配慮したシフト調整を行い資格取得しやすい環境を整備しています。
労働環境・処遇の改善	ICT活用（ケア内容や申し送り事項の共有（事業所内に加えタブレット端末を活用し訪問先でアクセスを可能にすること等を含む）による介護職員の事務負担軽減、個々の利用者へのサービス履歴・訪問介護員の出勤情報管理によるサービス提供責任者のシフト管理に係る事務負担軽減、利用者情報蓄積による利用者個々の特性に応じたサービス提供等）による業務省力化	介護記録・請求ソフトの活用による、情報共有・記録のタブレット入力での電子化等により業務負担軽減を行っている。社内ネットワークの構築による情報の共有化・電子化・省エネ化を行っています。
	介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボットやリフト等の介護機器等導入	特殊浴槽・リフト浴・電動ベッド（低床ベッド）を導入し、介護しやすい環境を整えることで介護職員の腰痛対策を行っています。
	子育てとの両立を目指す者のための育児休業制度等の充実、事業所内保育施設の整備	育児・介護休業規定を定め、従業員の育児・介護休業を取得しやすくしています。 ※育児休暇取得の実績もあります
	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	毎日の申し送りを伴うミーティングや、毎月の事業所毎でのミーティングでは利用者個別のカンファレンスや、周辺関連知識への研修などを積極的に行っています。
	健康診断・こころの健康等の健康管理面の強化、職員休憩室・分煙スペース等の整備	年次健康診断、対象事業所はストレスチェックの実施を行っています。 全館禁煙、敷地内に分煙スペース等を確保しています。
その他	障害を有する者でも働きやすい職場環境構築や勤務シフト配慮	無理のない業務プログラムを各人に作成し業務を行っています。 共に働く従業員もしっかりと特性等を理解した上で業務の共有しています。
	地域の児童・生徒や住民との交流による地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上	各事業所の地域で行われる行事に参加し、地域住民との交流を図っています。 事業所を開放し、地域の団体による活動も積極的に行って頂いています。
	非正規職員から正規職員への転換	非正規社員から正規社への転換制度を設けています。 ①6ヵ月以上の勤務実績②直近6ヶ月の出勤率が80%以上③社長の面接試験の合格
	職員の増員による業務負担の軽減	積極的に職員を採用し、一人一人の業務を分散させ、負担を軽減しています。